

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
国内旅行実務 II Travel Agency Job-Domestic Travel II		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	旅行業務取扱管理者試験必修	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
国内観光地理、旅行関連法規				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
国内観光地理、旅行関連法規				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小鮎 滋則	講師室	木曜日 10時から16時(授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
前期で学んだ国内旅行実務の知識をさらに深め、国内旅行を計画するにあたって必要な交通機関の運賃・料金や宿泊機関の規則や計算の方法および国内観光資源を学びます。また、国家資格である「旅行業務取扱管理者試験」にも対応するものとします。				
授業の目標				
前期で学んだ国内旅行実務の知識をもとに、運賃や料金の仕組みと観光資源を学び、旅行の企画立案が出来るようになることを目標とします。また、国家試験にチャレンジできるレベル達するようにします。				
授業の方法				
講義が主体となりますが、2週に1回は演習問題にも取り組みます。				
学習の成果(学習成果)				
前期で学んだ国内旅行実務の知識をさらに深め、J R・航空・私鉄などの交通機関の運賃や料金の算出の仕方および宿泊機関などの料金の算出方法を身につけることができるようになるとともに、観光資源を併せて学ぶことにより国内旅行商品の基本構造を理解することが出来るようになります。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明			
第2回目	J R 運賃規則 I と演習問題			
第3回目	J R 運賃規則 II			
第4回目	J R 料金計算 I と演習問題			
第5回目	J R 料金計算 II			
第6回目	国内観光資源 I と演習問題			

第7回目	国内観光資源 II	
第8回目	国内観光資源 III と演習問題	
第9回目	国内航空運賃・料金 (併せて約款も)	
第10回目	貸切バス運賃・料金 (併せて約款も) と演習問題	
第11回目	フェリー運賃・料金 (併せて約款も)	
第12回目	宿泊料金 I (併せて約款も) と演習問題	
第13回目	宿泊料金 II (併せて約款も)	
第14回目	J R, 航空、貸切バス、フェリー、宿泊のまとめ①と小テスト	
第15回目	J R, 航空、貸切バス、フェリー、宿泊のまとめ②	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
授業参加態度	20%	評価の基準
レポート		授業で使われる教材を準備して臨んでいる。授業に集中し、必要なことはノートに取り、積極的に質問する。S評価の基準：上記参加態度を全て満たす上位トップグループ。
調査報告書		
小テスト	20%	9回目と14回目の講義時間にJ Rについて的小テストを行い、理解度を確認します。S評価の基準：S=90-100
試験	60%	15回目の講義時間に試験を行います。S評価の基準：S=90-100
発表内容(態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
2014年版 U-CANの国内・総合旅行業務取扱管理者 演習レッスン(ユーキャン学出版)		
履修上の留意点・ルール		
国家試験を目指す学生はチャレンジ精神旺盛であることを期待します。		